

## 2012ワークショップ開催報告

実行委員：笹岡 達雄（パナソニック）  
実行委員：山道 新太郎（ルネサスエレクトロニクス）

恒例の修善寺ワークショップが、ラフォーレ修善寺（静岡県伊豆市）にて10月18日（木）、19日（金）に開催されました。本ワークショップは、エレクトロニクス実装学会の主要行事の一つであり、実装に関連する多岐にわたる発表をポスター形式で行います。また、宿泊を基本として、ノースーツ／ノーネクタイ、撮影／録音禁止をルールとしています。これは、参加者全員が技術的内容だけでなく本音で悩みや課題を議論することにより、様々な気づきを得て、人的な交流を深めることで将来の実装技術そして日本のモノづくりに欠かせない人脈作りを目的としているからです。本年度の参加者は、昨年とほぼ同数の総数63名でした。

今回は、メインテーマを「サステナブル社会実現に向けた実装技術の貢献」、サブテーマを「オリジナル技術で新価値創造・低コスト化に挑む！」と定め、日本の実装技術が世界の中で勝ち抜くためのキーテクノロジーとなる技術（実装プロセス、実装材料、回路基板、信頼性・解析、MEMS、先端パッケージ、接合、ナノテク、実装設計）発表が33件行なわれました。



滝澤委員長によるオープニング

初日は、小雨まじりの天気でしたが遠方からの参加者の利便性を図るため、13時00分からの登録開始としました。その後、今回のワークショップの委員長である滝澤さん（東芝）によるオリエンテーションがありました。

第1セッションのアブストラクトトークでは、発表者が3分間の時間の中で発表要旨や技術ポイント、アピールポイントなどの説明をして頂きました。その後、第1セッションのポスター発表16件がありました。どのポスターの前でもサンプルや資料を手に活発に議論を交わし、熱心にメモを取る様子が見受けられ実行委員が割って入れないほどの盛況ぶりでした。

ポスターセッションの終了後、部屋割が発表されました。夕食までの時間で、温泉で汗を流してくつろいだ時間を過ごされた方が多かったようです。

立食形式の夕食の後、松島 巧さん（エスベック）をお招きして、「完全制御型植物工場」というテーマでナイトセッションが行なわれました。実装とは少し離れた内容でしたが、植物工場普及の為に国内だけでなく海外にまで足を運んでご活躍されている内容をおもしろおかしく、そして本音でお話頂き、多くの方に新鮮で楽しかったという声を頂きました。



ナイトセッション(松島 巧氏)

続いて、第2セッションは各部屋に討論資料を持ち込んでのフリーディスカッションです。部屋ごとに、実装技術の課題や将来像を語り合ったり、お互いの会社の風土やプライベートな話まで各部屋とも夜更けまで大いに盛り上がったようです。

[以下、山道新太郎 実行委員記述]

2日目は爽やかな秋晴れでした。朝食後再び研修センターに集まって第3セッションがスタートしました。ポスター発表は、実装プロセス2件、実装材料5件、信頼性・解析1件、3D/TSV 2件、接合2件、パワーデバイス実装1件、実装設計1件、光実装1件の計15件です。前日夜遅くまで議論した部屋もあったようですが、皆さん元気にポスター前で活発な意見交換を行っておられました。クローズドになったポスター前でも熱心にメモを取る姿があちこちで見られました。



ポスターセッションの様子

昼食を挟んでのポスター発表終了後、NTTdocomoの大西輝夫氏をお招きして、「無線機器の進展電波防護評価」というテーマで特別講演が行なわれました。講演ではまず、携帯電話のサービスが、通話からiモードそして動画含めたクラウドサービスとして発展してきた歴史が振り返られました。携帯電話で可能となるサービスが今後ますます高度化してゆく中で、キャリアとしてはトラフィックの増大が悩ましい課題となり、ネットワーク・ダウンのリスクを回避するために基地局に冗長性を持たせるな

どの工夫を行うと、機器の大型化や消費電力の増大を招いてしまうという問題点が紹介されました。これらの課題に対しては新たな実装技術に大きな期待が寄せられるとのことでした。また、安全・安心なネットワークサービスの提供のために、電磁波の人体への影響評価は今後ますます重要となり、世界各国の標準化活動の相関と日本の体制、及び具体的な評価方法の紹介がありました。現時点でのSAR値に関する規格には無線LANは含まれていませんが、近い将来、無線LAN含め利用形態が多角化している電波環境全体を考慮した規格が制定されるとのことでした。身近な携帯機器に関する話題であったため、皆さん興味深く聞き入っていました。



特別講演(大西 輝夫 氏)

本ワークショップ終了後のアンケートでは、回答いただいた全ての方から「期待したものあるいは参加しただけの成果が得られた」との御意見をいただきました。ありがとうございました。一方で、もっと他のテーマの発表を増やして欲しいと御意見も頂きました。頂いた貴重な御意見を来年以降の運営に反映させて行きたいと思えます。

本ワークショップで得られた成果、及び人的ネットワークが、新しい技術開発・事業創出のきっかけとなれば幸いです。最後に、御発表頂いた方々、御参加頂いた方々、事務局の方々に感謝を申し上げます。